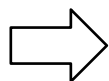


## 学校教育目標（令和8年度）

「豊かな心と健康なからだを育み、もてる力を最大限に発揮できる児童生徒を育てる」

### めざす児童生徒像

- いつも明るく あいさつする子
- みんなと仲良く 思いやりのある子
- いっしょに学び 考える子
- すすんで働き がんばる子
- 豊かな感性と 表現力のある子



### 5つの基礎・基本の獲得

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・健康な身体の確立
- ・豊かな心の獲得
- ・考える力の獲得
- ・社会的・職業的自立に向けた力の獲得

### めざす教職員像

- 児童生徒の人権を尊重し、愛情にあふれ、保護者や地域から信頼される教職員
- 特別支援教育の専門職としての自覚をもち、指導力向上の研鑽に努める教職員
- 幅広い見識と道徳心、社会性を備えたコミュニケーション能力の優れた教職員

## 経営方針（重点目標）

### ア 安全で安心な教育環境を整える。

- ・常に危機意識をもち、学校事故を未然に防ぐ手立てを講じるとともに、不祥事根絶を目指す。
- ・児童生徒の実態についての情報を共有し、安全で安心して学習できる環境（医療的ケア、食物アレルギー、教室内外、教材教具等）を整備する。
- ・発達段階に応じた防災安全教育、保健指導（性教育を含む）、食の指導を実践する。

### イ 5つの基礎・基本と時代のニーズや実態に即した教育を小中高一貫した指導で実践する。

- ・キャリア教育の視点を大切にし、高等部卒業後の姿を意識した計画的な指導を行う。
- ・学習指導要領の趣旨を踏まえ、個に応じた教科学習を充実する。
- ・豊かな心を育む指導（音楽、美術、体育）等の充実を図る。
- ・道徳教育、人権教育、主権者教育、国際理解教育、キャリア教育等を、発達段階に応じて実施し、小学部からの系統的な取り組みにおいて充実を図る。
- ・より専門的な学習指導を行うために、地域資源や人材の活用を積極的に進める。

### ウ 組織の専門性、教員の識見、指導力の向上に努める。

- ・一人一人が学校経営に参画する意識をもち、力を結集してより良い学校へ改善していく。
- ・主体的な研究、研修に積極的に取り組み、専門知識や技能を高め合えるように努める。

- ・授業研究を通して、授業を見合える状況を構築し、授業力の向上を目指す。
- ・教育の情報化や校務の情報化に向けて、ICT活用の技能を高める。
- ・生徒指導や教育相談体制の充実を図り、予防的側面からのアプローチを心がけ、児童生徒の課題に組織力をもって対応する。
- ・行動障害や自閉症傾向の強い児童生徒への指導等、これまでに積み上げてきた指導実践について研修し、専門性を高める。

## エ 保護者や地域との連携を強化する。

- ・コミュニティスクール制度を活用し、保護者や関係機関との密接な連携と適切な学校評価を行い、学校課題の改善を速やかに図る。
- ・学校行事、交流及び共同学習（地域の小中学校や高等学校との学校間交流、副次的な籍による居住地校交流）等をとおし、共生社会構築の一翼を担う。
- ・地域や関係機関との連携のもと、センター的機能の充実を図る。
- ・学校の教育方針や児童生徒の活躍の様子など、積極的な情報発信に努める。

## オ 学校における働き方改革（業務改善と職場環境改善）を進める。

- ・児童生徒理解及び授業改善の時間を確保するために、業務改善を進める。
- ・教職員が自分の強みを生かして達成感を味わいながら、心身ともに健康で「幸せに働く」職場環境を整える。
- ・学校全体でお互いを尊重し合える関係性を築くため、対話を通して「笑顔とチームプレイ」で、ともに働くという意識を感じられる組織づくりを目指す。
- ・保護者等の理解と協力を得て、働き方改革が進められるように学校の情報を発信する。